

平成28年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 中学校第1学年 数学 出題のねらい等

連番	大問	中問	小問	領 域	学年	学習指導要領の内容等	出題のねらい	観 点				問題類別	
								数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	知識	活用
①	1	(1)		数と式	1年	A(1)ア 正の数と負の数の必要性和意味	正の数と負の数の意味を理解していること。				○	○	
②		(2)		数と式	1年	A(1)ウ 正の数と負の数の四則計算	正の数と負の数の除法の計算ができること。			○		○	
③		(3)		数と式	1年	A(2)ウ 簡単な一次式の計算	簡単な一次式の減法の計算ができること。			○		○	
④		(4)		数と式	1年	A(2)ウ 簡単な一次式の計算	分配法則を使って数と一次式の乗法及び同類項をまとめることができること。			○		○	
⑤	2	(1)		数と式	1年	A(2)エ 式の値	文字式に数を代入して、式の値を求めることができること。			○		○	
⑥		(2)		数と式	1年	A(2)エ 式を用いた数量	数量の関係を文字式に表すことができること。			○		○	
⑦		(3)		関数	1年	C(1)ア 変域の意味	不等号を用いて変域の表し方を理解していること。				○	○	
⑧		(4)		数量関係	小6	D(5) 起こり得る場合	起こり得る場合を求めることができること。			○		○	
⑨		(5)		図形	小6	C(1)ア 縮図や拡大図	縮図を用いて、実際の長さの求め方を説明することができること。		○				○
⑩		(6)		量と測定	小6	B(3)ア 角柱及び円柱の体積	角柱の体積を計算によって求めることができること。			○		○	
⑪	3	(1)		数量関係	小6	D(1) 比	具体的な場面で、比を活用して解こうとしていること。	○					○
⑫		(2)		数と式	1年	A(3)ウ 比例式の活用	必要な情報から比例式をつくり問題を考えることができること。		○				○
⑬	4	(1)		数と式	1年	A(3)ウ 方程式の活用	方程式が表している数量の意味を理解していること。				○	○	
⑭		(2)		数と式	1年	A(3)イ 方程式	方程式を解き、問題の答えを求めることができること。			○		○	
⑮		(3)		数と式	1年	A(3)ウ 方程式の活用	等しい数量を見つけて方程式を考えることができること。		○				○
⑯	5	(1)		数と式	1年	A(2)エ 式を用いた数量	問題場面における考察の対象を求めようとしていること。	○					○
⑰		(2)		数と式	1年	A(2)エ 式を用いた数量	文字を用いた式における数量関係の表し方を理解していること。				○	○	
⑱		(3)		数と式	1年	A(2)エ 式を用いた数量	式の意味を捉え、式が表している数量を説明することができること。		○				○
⑲	6	(1)		数量関係	小6	D(4)イ 資料の調べ方	柱状グラフから必要な情報を読み取ることができること。			○		○	
⑳		(2)		数量関係	小6	D(4)イ 資料の調べ方	柱状グラフから資料の傾向や特徴を考えることができること。		○				○

※ 網掛けの問題は、過年度の調査において課題が見られた内容の改善状況を見る問題として出題しています。